

●基本情報

事業名(取組名)		健康づくり事業				評価番号	2-1-1-1.2.3	
担当課		保健福祉センター	係	健康増進係	予算科目	☐ 予算なし		
基本計画	基本方針	【2】いつまでも健康で元気あふれるまちづくり				会計	【01】一般会計	
	基本施策	【1】健康づくりの推進				款	【0104】衛生費	
	施策	【1】健康づくりの強化				項	【010401】保健衛生費	
	主な取組	①健康づくり啓発の推進				目	【01040102】予防費	
		②食育の推進				事業	健康づくり推進事業	
③こころの健康づくりの推進								

●計画 ～PLAN～

根拠法令等	☐ なし ☒ あり	名称	地域保健法，食育基本法，自殺対策基本法，精神保健及び精神障害者福祉に関する法律		
新規・継続	☐ 新規 ☒ 継続	事業開始年度	年度	☒	事業開始年度不明
事業期間	☐ 期間限定あり（事業終了年度：令和 年度） ☒ 単年度繰り返し ☐ 単年度のみ				
実施手法 (すべてチェック)	☒ 町が直接実施（直営） ☒ 委託〔 ☐ 全部委託 ☒ 一部委託 〕 ☐ 補助金等 ☒ 町民協働 ☐ 指定管理 ☐ 事務局 ☐ その他（ ）				
実施形態	☐ 町単独 ☐ 国・県補助事業 ☒ 国・県補助事業+町事業(上乗せ) ☐ その他（ ）				
事業概要	「健康づくり21」の計画に沿って，こころと身体の健康づくり事業を実施しています。 こころの健康づくりでは，啓発活動や相談事業，講演会，研修会などを実施しています。 生活習慣病予防対策を推進するため，健康づくり普及活動を利根町食生活改善推進員協議会に委託し事業を実施しています。				

●実施 ～D0～

事業業績	こころの健康づくり事業として、毎月予約制で精神保健福祉士による精神保健相談の実施、町公式ホームページへのこころの体温計アプリの運用、こころの健康づくりカレンダーの作成及び全戸配布並びに町職員向けゲートキーパー研修会を実施しました。 また、健康づくり事業として、利根町食生活改善推進員協議会に事業委託し、生活習慣病予防の啓発や、健康づくり普及活動を進めました。				
支出	主な歳出の節		令和元年度（実績）	令和２年度（実績）	令和３年度（実績）
	内訳	7 報償費	89,949 円	105,328 円	69,914 円
		10 需用費	347,409 円	494,780 円	354,200 円
		11 役務費	4,625 円	円	円
		12 委託料	376,400 円	376,400 円	376,400 円
		18 負担金、補助及び交付金	円	円	4,950 円
			円	円	円
	事業費 計		818,383 円	976,508 円	805,464 円
財源	主な歳入の科目		令和元年度（実績）	令和２年度（実績）	令和３年度（実績）
	内訳	国支出金	円	円	円
		県支出金	191,000 円	272,000 円	197,000 円
		受益者負担金	円	円	円
		地方債	円	円	円
		その他	円	円	円
		一般財源	627,383 円	704,508 円	608,464 円
	事業費 計		818,383 円	976,508 円	805,464 円

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	理由	☒ 貢献している ☐ 見直す余地がある 食生活改善推進業務を町のボランティア団体へ委託することで、町民内で健康づくりの輪が広がり、自主的な活動につながっています。また、精神保健に関する相談事業とこころの健康に関する普及啓発事業の実施は、こころの健康の保持増進につながっています。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	理由	☒ 妥当である ☐ 見直す余地がある 町民に対し生涯を通じた食育の推進を広げていくためには、町が主体となって健康づくりの担い手を養成し、活動をサポートしていく必要があります。また、町民の心身の健康状態の把握や相談しやすい環境を整備することは、町主体で実施することが妥当であると考えます。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	理由	☒ 余地がない ☐ 見直す余地がある 食生活改善推進員に対し、定期的に研修会を開催し、会員のスキルアップを行っています。また、毎年、事業内容の見直しを行うことで成果の向上に繋がると考えます。こころの健康に関しては、相談できずに問題を抱えている人や相談の場を必要としている人が、専門的な相談機関や公的サービスに繋がれるよう支援しています。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	理由	☐ 可能性がある ☒ 可能性がない 地域の健康づくりやこころの健康保持増進のために、町は町民の健康状態を把握し、環境の整備、情報提供といった普及啓発事業を実施していく必要があることから、廃止・休止の可能性はありません。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	理由	☐ 可能性がある ☐ 可能性がない ☒ 類似事業はない
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	理由	☒ 余地がない ☐ 余地がある コストを削減することで研修の実施困難や普及啓発内容の質の低下など健康づくり推進事業に影響を及ぼすため、削減は難しいと考えます。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	理由	☐ 適正である ☐ 見直す余地がある ☒ 受益者負担を求める事業ではない

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続 (☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 拡大) ☐ 休止 ☐ 廃止（終了） ☐ 統廃合 ☐ 連携	
	【理由】 健康づくりを推進していくためには、町民の健康状態を把握し、健康づくりの環境整備、情報提供といった普及啓発事業を実施していく必要があります。また、この事業を推進していくにあたって、自主性や町民同士の繋がりが重要であることから、今後も継続的に食生活改善推進員やゲートキーパーの養成を行い、町と町民が一体となって健康づくりの更なる推進を図ることが大切であると考えます。	

●基本情報

事業名(取組名)		健康増進施設整備の検討			評価番号	2-1-1-4	
担当課		政策企画課	係	地域振興係	☒ 予算なし		
基本計画	基本方針	【2】いつまでも健康で元気あふれるまちづくり			予算科目	会計	
	基本施策	【1】健康づくりの推進				款	
	施策	【1】健康づくりの強化				項	
	主な取組	④健康増進施設整備の検討				目	
						事業	

●計画 ～PLAN～

根拠法令等	☒ なし ☐ あり	名称					
新規・継続	☐ 新規 ☒ 継続	事業開始年度	令和	1	年度	☐ 事業開始年度不明	
事業期間	☐ 期間限定あり（事業終了年度：令和 年度） ☒ 単年度繰り返し ☐ 単年度のみ						
実施手法 (すべてチェック)	☒ 町が直接実施（直営） ☐ 委託（ ☐ 全部委託 ☐ 一部委託 ） ☐ 補助金等 ☐ 町民協働 ☐ 指定管理 ☐ 事務局 ☐ その他（ ）						
実施形態	☒ 町単独 ☐ 国・県補助事業 ☐ 国・県補助事業+町事業(上乘せ) ☐ その他（ ）						
事業概要	令和元年度に実施した基礎調査の結果に基づき、健康増進施設の整備について検討を進めます。						

●実施 ～D0～

事業業績	学校跡地を含む既存施設を活用した健康増進施設の整備について、検討を進めました。				
支出	主な歳出の節	令和元年度（実績）	令和2年度（実績）	令和3年度（実績）	
	内訳				
	事業費 計				
財源	主な歳入の科目	令和元年度（実績）	令和2年度（実績）	令和3年度（実績）	
	内訳	国支出金			
		県支出金			
		受益者負担金			
		地方債			
		その他			
	一般財源				
事業費 計					

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	☒ 貢献している ☐ 見直す余地がある 理由 学校跡地を含む既存施設の活用について、検討を進めました。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	☒ 妥当である ☐ 見直す余地がある 理由 健康増進施設の整備については、町が主体となって検討を進めていく必要があると考えます。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	☒ 余地がない ☐ 見直す余地がある 理由 既存施設の活用による整備について、引き続き検討を行います。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	☐ 可能性がある ☒ 可能性がない 理由 健康増進施設の整備については、引き続き、検討を進めていく必要があると考えます。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	☐ 可能性がある ☐ 可能性がない ☒ 類似事業はない 理由
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	☒ 余地がない ☐ 余地がある 理由 事業費は予算計上していません。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	☐ 適正である ☐ 見直す余地がある ☒ 受益者負担を求める事業ではない 理由

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続 (☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 拡大) ☐ 休止 ☐ 廃止（終了） ☐ 統廃合 ☐ 連携
	【理由】 今後は、学校跡地を含む既存施設の活用や民間活力を活用した整備について、検討を進めていきます。